

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務 雪氷対策・雪氷片付け		会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
工期	令和6年11月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	小瀬 裕之
作業名称	ウレタン運搬	作業手順書	作成年月日	令和3年1月25日
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	トラック、フォークリフト		現場責任者	自署サイン
使用工具 機器 (大きき等々は 具体的な寸法を 記す)	ラッシングベルト、シート		元請確認	
保護具	ヘルメット、チョッキ、安全靴、手袋、警笛		改正年月日	
免許・資格等 (免)(技)(特)(準 特)の区別を記す	普通免許 フォークリフト(技)		作業順序 1 事前調査 2 準備作業 3 積み込み 4 荷締め 5 移動 6 荷降ろし 7 後片付け 8	
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	責任者1人、作業員1人、監視員 人 合計 2名			
作業手順	作業責任者(職長)	周知会実施日		
周知会 参加者				
サイン (記録)				

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可 能 性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目 (誰が)	内容 主なステップ	留意事項 作業のポイント	危険性・有害性の洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスク レベル ミス・ロス	危険性・有害性の除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
事前調査(雪氷巡回等)	作業箇所確認 周辺安全確認	作業必要箇所の拾い出し 危険ポイントの確認						
準備作業	ミーティング 機械・道具の点検 作業箇所の確認	健康状態の確認 免許・資格等の確認 日常点検により機械・道具 の動作の確認 雪氷本部で数量の確認						
積み込み	フォークリフトを使用しウレタンを荷台へ積み込む。	有資格者による運転	フォークリフト操作時に周囲の構造物に気が付かず破損させる。	△	×	△×	4	作業前に周囲の確認を行う。動かせるものは作業前によけ、作業範囲を確保する。
荷締め	ラッシングベルトでウレタンを固定し、シートをかける。		荷台で作業を行った後に、荷台から飛び降り負傷する。	△	×	△×	4	荷台から降りる時はステップの位置をしっかりと確認し、ステップに足をかけ慎重に降りる。
移動	各基地へ運搬する。	走行中は法定速度を守る。	カーブを曲がる時に、スピードが速く積み荷が崩れる。	△	△	△△	3	カーブ手前では減速を行ってカーブに進入する。
荷降ろし	荷締めを外し、必要枚数を降ろす。 降ろしおつたら数量を確認し、基地に連絡をす 使用済みウレタンがある場合は担当者に連絡し回収する。 残ったウレタンを整理し、ラッシングベルトで固定しシートをかける。	ウレタンは滑りやすいため取扱注意。 ウレタンは滑りやすいため取扱注意。	ウレタンを運ぶときに、手が滑り足元に落とし負傷する。	△	△	△△	3	手袋を着用し慎重に運ぶ。
後片付け	回収してきたウレタンを降ろす。 荷台の整理整頓を行う。 洗車・給油を行い車両を片付ける	保全センターの廃ウレタン置き場に降ろす。 ラップのゴミなどがないか確認する。						